

エコアクション21 環境経営レポート

日本紙器株式会社

2024年度

環境活動期間

2024年4月から2025年3月

発行日

2025年5月23日



〒851-2108

長崎県西彼杵郡時津町日並郷2233

目次

内容	ページ
1 環境経営方針	1
2 事業活動の内容	2
3 組織図	3
4 環境経営目標	4
5 環境経営計画	5
6 環境経営目標の実績とその評価	6
7 環境経営計画の取組結果とその評価 、次年度の取組内容	7
8 環境関連法規などの遵守状況の確認及び 評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	8
9 代表者による全体の評価と見直し・指示	9
10 当社の取り組み	10
11 当社の環境活動	11

日本紙器株式会社 環境方針

基本理念

日本紙器株式会社は、リサイクルシステムが確立されている段ボール製品を社会へ提供していく事で循環型社会を支えると共に、製品の製造販売に当たって省資源、省エネルギー等に努め地球温暖化防止に貢献します

行動方針

- 1、常に環境への影響を考え、環境負荷の少ない、段ボール製品を積極的に世の中へ提供します
- 2、環境保全の重要性を認識し、事業活動に起因する環境影響を評価しつつ下記の事を積極的に推進します
 - ① 省資源に取り組めます
 - ② 省エネルギーに取り組めます
 - ③ 廃棄物削減とリサイクルの推進に取り組めます
 - ④ 水使用量の削減に取り組めます
 - ⑤ 有害化学物質使用量の削減に取り組めます
 - ⑥ 環境に配慮した製品の活用に努めます
- 3、時津町の環境を大切にし、周辺地域の環境美化に努めます
- 4、技術的・経済的に可能な限り、環境目的・目標を定め環境保全活動の継続的な改善、及び汚染の予防を図ります
- 5、環境関連法規制、及びその他の要求事項を遵守した環境活動を推進します
- 6、環境方針は文書化し、全社員及び協力業者に周知徹底すると共に、一般の人々にも公開します

制定日 2004年10月1日
改定日 2021年4月1日

代表取締役社長 杉本 潔

2 事業活動の内容

(1) 事業者名および代表者名

日本紙器株式会社

代表取締役社長 杉本 潔
設立年月日 昭和36年9月8日

(2) 所在地

郵便番号 851-2108
長崎県西彼杵郡時津町日並郷2233

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者の連絡先

環境管理責任者 樋田興三
EA21事務局 島田直己
TEL 095-882-2521
FAX 095-882-2804
UAL <http://www.nihonsiki.co.jp>
E-mail gyoumu@nihonsiki.co.jp

(4) 事業内容

段ボール及び段ボール箱の製造・販売

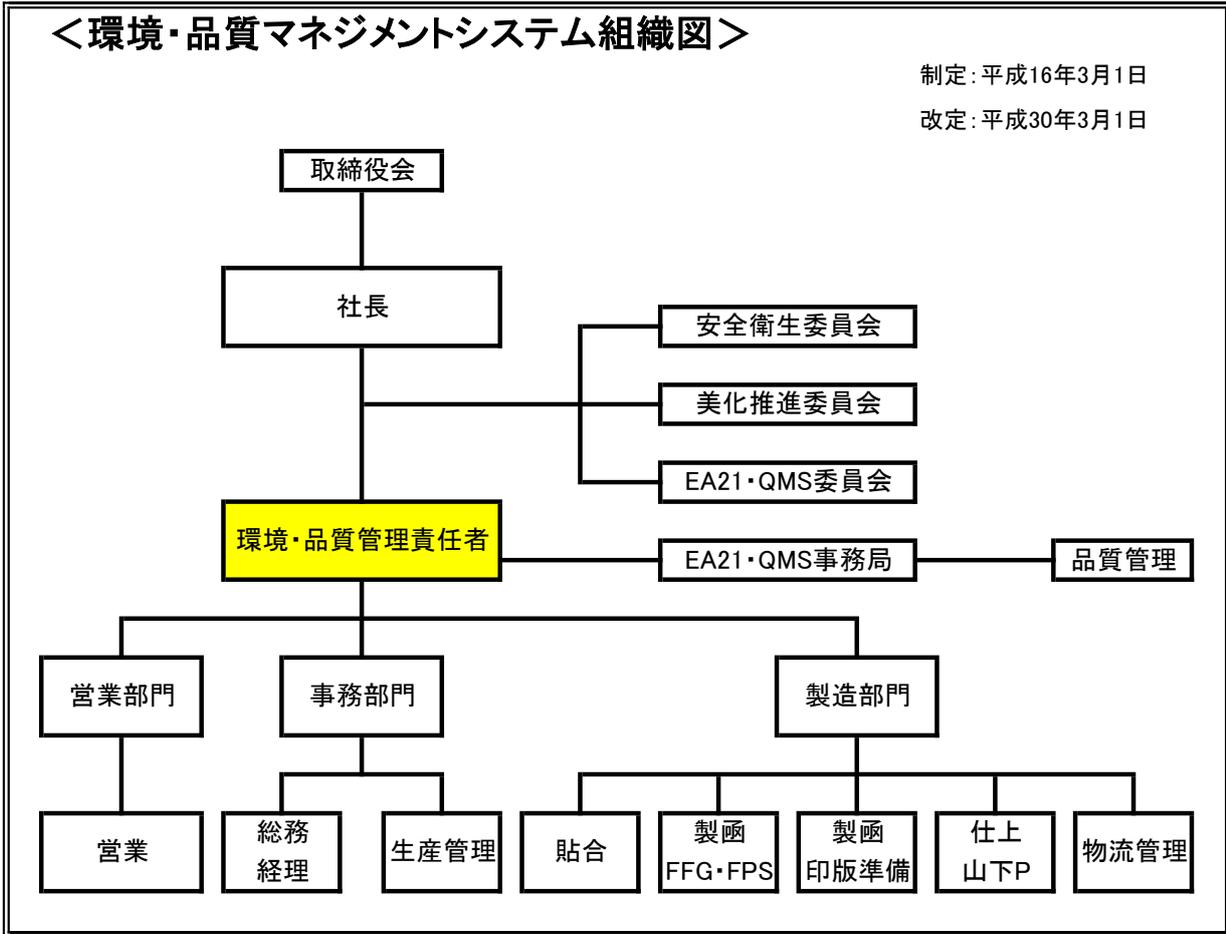
(5) 事業の規模

(年度: 4月～翌年3月)

	2022年度	2023年度	2024年度
生産量 [千m ²]	23,360	23,794	22,957
工場敷地 [坪]	5,029	5,029	5,029
隣接山林 [坪]	4,804	4,804	4,804
従業員 [名]	90	90	90

3 組織図

対象範囲 全組織・全活動を認証、登録の対象としています



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ 環境方針を作成・見直し・従業員に周知する 環境管理責任者、EA21事務局員を任命 環境への取組を実施するための資源を準備する EA21全体の取組状況に関し評価・見直しを実施する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる 環境目標・環境活動計画を作成する 三か月に一回、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況を確認、評価する 環境実績を代表者に報告する
EA事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う 社外からの環境情報の収集と伝達を行う
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、開催し環境目標の達成度、活動の実施状況を審議する
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針、環境目標、環境活動計画を部門全体に周知する 環境目標達成のため、自部門の環境活動を推進する 自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 自部門の教育、訓練の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4 環境経営目標

項目	単位	基準年 2023年度	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
1. 全社二酸化炭素排出量の削減	t-CO ₂	1,366	1,359	1,352	1,346
①電力量削減	kWh	1,112,210	1,106,649	1,101,088	1,095,527
②重油使用量削減	L	291,900	290,441	288,981	287,522
③LPG使用量削減	kg	11,136	11,080	11,025	10,969
④ガソリン使用量削減	L	11,970	11,910	11,850	11,790
基準年は2023年実績					
二酸化炭素排出量は毎年約0.5%削減					
* 購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力、2022年度調整後排出係数、 0.462kg-CO ₂ /kWhを使用。					
2. 廃棄物排出量の削減					
汚泥、廃プラの削減	t	22.9	22.8	22.7	22.4
毎年0.5%。汚泥の水分率減少に取り組み、廃棄物排出量の削減に取り組む。					
3. リサイクルの推進					
①故紙発生率の削減	%	10.1	9.5	9.5	9.5
②段ボール販売量の増加	千m ³ /年	23,794	26,000	26,000	26,000
故紙発生率は目標達成できていないが最重要テーマとして継続する。					
4. 総排水量の削減					
上水道使用量の削減	m ³ /年	1986	1976	1966	1956
毎年0.5%。蒸気漏れ箇所を随時補修し、水使用量削減に取り組む。					
5. 有害化学物質の適正管理					
硼砂、苛性ソーダが該当する 使用量の把握と管理を行う					
6. 事業活動に伴う環境配慮					
環境配慮製品の活用		実施	実施	実施	実施
リサイクルマーク印刷率向上	%	99.2%	99.2%以上を維持する		
◎ 地域環境美化活動	12/年	12	12	12	12

※リサイクルマーク: 段ボールがリサイクル可能であることを証明する為、印刷されるマーク

※リサイクルマーク印刷率: リサイクルマークの印刷されたケース数/総生産ケース数

5 環境経営計画

当社の事業活動における環境への負荷を低減する環境経営目標を達成するために、以下の通り活動を実施します。

目標		目標達成のための主要な環境活動	責任者
1 二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	生産効率向上により早く帰る	貼合課長 製函課長
		必要のない電気(照明)を消す	
		空調の温度設定に留意する(夏季28℃、冬季20℃)	
		デマンドによる管理	
		カッターブロアの間欠運転	
	ガソリン使用量の削減	エコドライブの励行(急発進・急停止の厳禁等)	営業部長
		アイドリングストップの励行	
		タイヤ空気圧等、車両整備を行う	
		走行距離の記録を確実にする	
	LPG使用量の削減	生産性向上によりフォークリフトの積込み時間削減を図る	貼合課長 製函課長
重油使用量の削減	生産性向上	貼合課長	
	ボイラーの蒸気漏れをチェックする		
出2 量 の 廃 棄 物 削 減 排	汚泥、廃プラの削減	汚泥含水率計測の実施・記録	業務部長 貼合課長 製函課長
		汚泥の洗濯機による脱水による重量削減	
		廃プラの削減に努める	
3 リ サ イ ク ル の 推 進	①故紙発生率の減少	機械のメンテナンスによりロス率の削減	業務部長 貼合課長 製函課長
		再生産回数の減少	
		不明ロスの原因を究明して適切な対策を立てる	
	②段ボール販売量の増加	新規獲得を目標を決めて行う	営業課長
4水資源使用量の削減		水道の出しっ放し洗いをしない	総務部長 業務部長
		水漏れ箇所のメンテナンス	
5有害化学物質の適正管理		硼砂と苛性ソーダが該当する、使用量の把握と管理を行う	貼合課長
に6 伴 事 業 配 慮 環 境 活 動	環境配慮製品の活用	省エネ製品購入に努める	総務部長
	リサイクルマークの印刷率向上	リサイクルマークのない製品のリストにより順次つける	営業課長
◎地域美化活動		月1回会社周辺の清掃を行う	品質管理室
		全員参加を原則とする。	

6 環境経営目標の実績とその評価

評価：97%以上を○。90～97%未満を△。90%未満を×。

目標	単位	2023年度 基準年	2024年度 目標	2024年度 実績	達成率	評価
1.二酸化炭素排出量の削減	t-CO2	1,366	1,359	1,295	104.9%	○
①電力量削減	kWh	1,112,210	1,106,649	1,043,391	106.1%	○
②重油使用量削減	L	291,900	290,441	278,840	104.2%	○
③LPG使用量削減	kg	11,136	11,080	10,238	108.2%	○
④ガソリン使用量削減	L	11,970	11,910	11,588	102.8%	○
2.廃棄物排出量の削減						
汚泥、廃プラの削減	t	22.9	22.8	15.6	146.2%	○
3.リサイクルの推進						
①故紙発生率の削減	%	10.1	9.5	10.0	95.0%	△
②段ボール生産量の増加	千m ² /年	23,794	26,000	22,957	88.3%	×
4.総排水量の削減						
上水道使用量の削減	m ³ /年	1986	1976	2004	98.6%	○
5. 有害化学物質の適正管理						
硼砂、苛性ソーダが該当する 使用量の把握と管理を行う。						○
6.事業活動に伴う環境配慮						
環境配慮製品の活用		実施	実施	実施	実施	実施
リサイクルマーク印刷率向上	%	99.2	99.2	99.3	100.1%	○
◎ 地域環境美化活動	12/年	12	12	12	100.0%	○

②段ボール生産量の増加：段ボール製品の総面積とします。(千m²)

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力、2022年度調整後排出係数、0.462kg-CO2/kWhを使用。

※リサイクルマーク：段ボールがリサイクル可能であることを証明する為、印刷されるマーク

※リサイクルマーク印刷率：リサイクルマークの印刷されたケース数/総生産ケース数

2024年度：(リサイクルマーク入りケース数：31,828,656ケース)/(総生産ケース数：32,046,774ケース)

7 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境目標	評価	次年度の取組
二酸化炭素排出量の削減	電力量、重油使用量、LPG使用量、ガソリン使用量、全ての項目で目標達成。 電力量は、太陽光発電の増設及び自家消費が目標達成に寄与したと思われる。	引き続き生産性のアップ、品質クレームの削減、再生産回数の削減に取り組み、二酸化炭素排出量の削減を目指す。 太陽光発電の増設をし、自家消費によりさらな電力量削減を目指す。
廃棄物排出量の削減	目標達成。汚泥処理に洗濯機を使用して水分を減らした大きな効果が出た。(含水率の減少)	今後も対策を継続する。
リサイクルの推進	・故紙発生率の削減は未達成。 ・段ボール生産量は目標未達。	・引き続き発生率の削減に努める。 ・新規取引先を開拓する。
水資源使用量の削減	目標達成。	貼合 蒸気配管の蒸気漏れ箇所を随時補修し、引き続き節水に努める。
有害化学物質の適正管理	使用量の把握と管理が適切に行われた。	引き続き使用量の把握と管理を行う。
事業活動に伴う環境配慮	リサイクル製品の購入を実施。 月1回の地域環境美化活動を実施。	引き続きリサイクル製品の購入を行う。 月1回の地域環境美化活動を継続する。

8 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟などの有無

主要な環境関連法規の遵守状況は年1回チェックリストで確認します。

内容	過去3年間	2024年度
法律違反の有無	無し	無し
大気汚染防止法	無し	無し
水質汚濁防止法	無し	無し
騒音規制法	無し	無し
消防法	無し	無し
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	無し	無し
PRTR法	無し	無し
毒劇法	無し	無し
訴訟の有無	無し	無し
外部苦情の有無	無し	無し

環境関連法規の違反はありません、また関連当局より違反などの指摘は過去三年間ありません

令和7年 4月24日

環境管理責任者 樋田興三

9 代表者による全体の評価と見直し・指示

2024年度の二酸化炭素排出量は積極的な省エネ活動の結果、目標を達成した。

実施体制は見直ししましたが、変更はなし。

その他目標に対しては、古紙発生率の削減、段ボール販売量の増加、上水道使用量の削減が未達成となった品質クレーム数は2023年度97件から2024年度96件とわずかながら減少した。

2024年度の大きな設備更新は、試作室サンプルカッター更新(4月)、印刷指示書の管理・配信システム更新(8月)、貼合Aライナーオートスプライサ更新(12月)。

また、太陽光パネル100kw増設(11月)、貼合工場棟にカバー工法による屋根補修(12月)を行った。

段ボール原紙価格の高止まり、副資材・エネルギー費・物流費の高騰、人手不足・人件費上昇、少子高齢化などによる内需の減少など、段ボール業界を取り巻く環境の変化に対応する為、

- ①新規顧客の獲得、製品・商品の獲得、提案営業などによる総付加価値の向上
- ②生産性向上及びロス削減などによるコスト削減
- ③新しいマーケットへの挑戦

による既存事業の強みを生かして新しい需要を開拓する事を目標に活動してきた。

2025年度に向けて、

- ①クレームの出ない仕事の仕方に変える
- ②古紙率並びに各種原単位の更なる改善
- ③運送2024年問題への取り組み
- ④健康経営の取り組み
- ⑤箱以外の段ボール製品開発の推進

を目指し、各部門が目標を具体化し、実行に移し、結果(利益)を出すことができる様、引き続き取り組んで行く。

令和7年 5月16日

代表取締役社長 杉本潔

2024年度に導入した設備

試作室サンプルカッター



貼合Aライナーオートスプライサ (原紙紙継装置)



太陽光パネル100kw増設



10 当社の取り組み

- ・2024年11月に太陽光パネルを増設しました。
製函工場屋根に、太陽光パネル(100kw)を増設しました。
自家消費をすることで、電力使用量の削減に寄与しています。

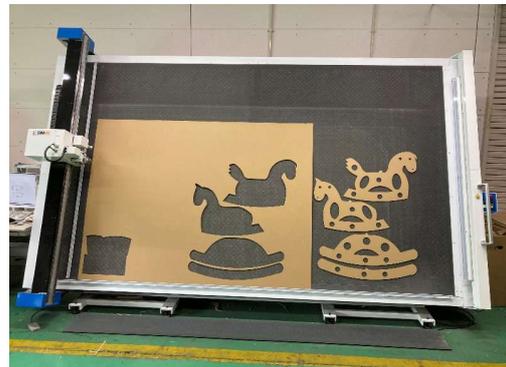


- ・2024年4月に、サンプルカッターの更新を行いました。
デジタルプリンターで印刷後、サンプルカッターでカッティングする事で、段ボール製の遊具や看板、イベント用オブジェ等を作成し、好評をいただいています。 ※サンプルカッター:CADで設計した図面通りにカッティングする機械

デジタルプリンター(段ボールに印刷可能)



更新したサンプルカッター



段ボール遊具(ふるさと納税品)



段ボール製新幹線(オブジェ)



インターンシップ受け入れ（近隣中学校、高校から受け入れ）



工場見学（近隣小学校から受け入れ）



11 当社の環境活動

KYT（危険・予知・トレーニング）（2024年7月20日実施）



毎月の周辺清掃活動（工場敷地内および敷地外周辺を清掃）



グループ合同社員研修会（年2回、9月と2月に開催）



重油流出訓練（2025年3月24日実施）



消火訓練（2025年3月24日実施）



消火訓練（2025年3月24日実施）

